

学術サミット

活動報告・活動目標

一般撮影班

2021 年度活動報告

- 一般撮影（胸部・腹部・骨関係・乳腺・歯科・骨密度）および透視検査に関する調査・研究を継続して行っています。
- 特殊な検査に関する線量の調査を行い、大学病院におけるローカル DRLs の検討も行っています。

2022 年度活動目標

- 一般撮影（胸部・腹部・骨関係・乳腺・歯科・骨密度）および透視検査に関する調査・研究を行い、JAPAN-DRLs2020 との比較を行っていきます。
- 大学間で横断的な調査を行う事で、検査の正当化と最適化を踏まえた技術提供を検討していきます。

血管造影班

2021 年度活動報告

- 2020 年集計の RocalDRLs データを近日ホームページ掲載予定です。
- 5 年前と同様に調査を行い、データの比較を行いました。

2022 年度活動目標

- RocalDRLs での班員施設の透視画像の評価を行います。
- ファントムと評価方法について再検討を行います。

学術サミット

活動報告・活動目標

CT 班

2021 年度活動報告

- CT 検査の被ばく線量において、小児、乳幼児の検査を行う場合、放射線感受性が高いことから、画質を担保しつつ最低限の X 線量で検査を実現しなければなりません。
- そのために、全国国立大学病院の現状を把握するとともに、小児 CT 検査の正当性を示すことを目的として活動しています。
- 全国国立大学病院において調査を行うための倫理委員会承認を受けました。

2022 年度活動目標

- CT 検査の被ばく線量において、小児、乳幼児の検査を行う場合、放射線感受性が高いことから、画質を担保しつつ最低限の X 線量で検査を実現しなければなりません。
- 全国国立大学病院の現状を把握するとともに、小児 CT 検査の正当性を示すことを目的として活動しています。
- 倫理承認を受け、調査を開始します。

MRI 班

2021 年度活動報告

- MRI Safety Guideline 2nd edition の策定を行いました。
 - パブリックコメントに関する回答を行いました。
 - ガイドライン 2nd edition が完成し冊子の配布を行いました。（電子ファイルも予定しています）

2022 年度活動目標

- MRI 部門で抱える教育・医療安全に関する調査を予定しています。
- MRI 部門での人材育成へ貢献できる共有データ（資料）の作成を行います。

学術サミット

活動報告・活動目標

放射線治療班

2021 年度活動報告

- 治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っています。
- 放射線治療における被ばく管理と線量評価の標準化に向けた活動を行いました。

2022 年度活動目標

- 治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っています。
- 放射線治療における被ばく管理と線量評価の標準化に向けた活動を継続して行います。

核医学班

2021 年度活動報告

- 国立大学診療放射線技師会学術サミット核医学班では、核医学検査における被ばく線量把握とその低減のため、「SPECT-CT 検査および PET-CT 検査における CT 線量調査」を課題として活動します。
- 核医学検査における医療事故防止の観点から、「核医学検査におけるインシデントの調査と解析」も二つ目の課題として活動しています。
- 国立大学病院におけるネットワークを通じて、核医学検査に関する様々な問題についての調査を行い、その問題を解決することで我が国の医療の質の向上に貢献したいと考えています。

2022 年度活動目標

- SPECT-CT、PET-CT 検査における CT 線量調査を行います。
- 核医学検査におけるインシデント解析を行います。